

令和4年度岐阜県学校安全優良校の実践

	学校	特徴ある取組
岐阜	岐阜市立 木田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・液状化の危険を想定して、職員の協議により避難場所及び避難方法の見直しを行い、変更を受けて命を守る訓練を実施した。 ・地元企業との連携による「自宅を避難場所にできる庭の設計」、東京海上日動火災講師による防災教室等、関係機関との連携を図って学校安全の取組を実践した。 ・ボーイスカウトの協力により、防災体験学習、防災訓練、学校での避難所宿泊体験活動を行った。
西濃	養老町立 上多度小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・二次避難場所への避難、職員による避難経路確認や不明者を想定した捜索訓練等、実際の災害を想定した実効性のある訓練を実施した。 ・学年に応じた交通安全教育、防災教育を位置付け、それぞれ関係機関との連携による活動の充実を図った。 ・県警本部生活安全部少年課の幼児等連れ去り事案未然防止養育班「たんぼぼ」による防犯教室を開催した。
美濃	郡上市立 大和西小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・命を守るスキルを高める指導実践を計画的に行うための「命の教育カリキュラム」を策定し、命の大切さについて考える安全教育を充実させた。 ・清流の国ぎふ防災・減災センターより専門家を講師として招き、DIG（災害図上訓練）、防災教室等を実施した。 ・地区安全マップを作成し、校内に掲示した。PTAと連携して毎年マップの見直しを実施し、通学班会での活用を図ってきた。
可茂	美濃加茂市立 伊深小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・停電、不明者救出等、様々な危険を想定した命を守る訓練を実施するとともに、月1回のシェイクアウト訓練を実施し、児童・職員の命を守るスキルを高めた。 ・清流の国ぎふ防災・減災センターより専門家を講師に招き、防災講演会、土砂災害時の泥沼避難体験を実施した。 ・市の防災安全課から講師を招いて、全職員対象の防災、減災についての研修を実施し、防災に関わる情報収集、二次避難所開設の対応等を学んだ。
東濃	恵那市立 武並小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・市の危機管理課や専門家から、危機管理マニュアルの改善についての指導・助言を受け、マニュアルの作成、修正、訓練実施、評価、改善のサイクルを確立した。 ・災害時を想定した実践的学習「防災スクール」を実施し、卒業時に武並子ども防災士に任命するまでの、6年間の系統立てた防災教育に取り組んできた。 ・危機管理課、恵那防災研究所、地元消防団、防災士、中学生等、様々な関係機関やと連携し、市の防災訓練に参加する形で「防災の日」の実践を行った。
飛騨	高山市立 宮中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・一之宮学園運営協議会の組織であるまちづくり協議会が学校での安全教育をサポートし、登下校の見守りや、生徒会活動との連携の構築を図ってきた。 ・消防署、警察署、一之宮支所地域振興課、小学校、保育園と連携して、「防災の日」の取組で、備蓄品についての学習、合同引き渡し訓練等を実施した。 ・県警本部広報県民課による講演会「命の大切さを学ぶ教室（交通事故遺族の方の講話）」や駐在所巡査によるSNS利用の講話を聴き、安全な生活への意識を高めた。
県立	岐阜県立 岐阜総合学園 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車ヘルメット着用推進校として、推進リーダーを任命し、県民生活課県や県警、地区の交通安全協会と連携して各種イベントでヘルメット着用啓発活動を行った。 ・全生徒のタブレット端末に県自動車条例のパンフレットを送信したり、情報モラル講座をオンラインで開催したりして、ICT危機を活用した安全啓発に取り組んだ。 ・防災機器企業の担当者を職員研修会の講師として招き、防災機器の使用や災害時の誘導方法を学んだ。